



三郷町亀の瀬にちなむ緑のコーラ『亀の甲羅』を発売 ～日本遺産「龍田古道・亀の瀬」を活かした「かわまちづくり」～

**令和2年 日本遺産認定
(奈良県三郷町・大阪府柏原市)**

『もう、すべらせない!! ～龍田古道の心臓部「亀の瀬」を越えてゆけ～』

古代の官道「龍田古道」、「亀の瀬」の地すべり、「龍田大社」の信仰の3つが、1つのストーリーとして展開されている

■亀の瀬にちなむ緑のコーラ『亀の甲羅』

令和2年に文化庁の日本遺産に認定された「龍田古道・亀の瀬」を広く知ってもらうため、令和4年6月、三郷町と大阪府柏原市とで設立した「日本遺産『龍田古道・亀の瀬』推進協議会」が炭酸飲料「亀の甲羅」(340ml/税込250円)を開発した。日本遺産の申請時に審査員の目に留まり興味を引き立てるタイトルをつけた経験から、ダジャレの効いたインパクトのある名前を考えたという。「亀から連想される色」「甲羅にちなんだコーラ味」にこだわった本商品は、見た目は透き通った鮮やかな緑色で、ほんのりとコーラの風味が広がる。普段コーラを飲まない人や小さな子供でも楽しめるよう炭酸を控えた優しい味わいに仕上がっている。亀のイラストの入ったラベルは三郷町と柏原市の職員がデザインした。現在、三郷町役場や柏原市役所、農業公園信貴山のどか村、信貴の湯など三郷町・柏原市内で販売されており、予想以上に売れ行きが良く増産を重ねている。今後は地域への収益還元を目的に地域内での販売を強化する方針だ。

「亀の甲羅」は、年間を通して16℃前後に保たれる亀の瀬トンネル(旧大阪鉄道亀瀬^{すいどう}隧道)内で三郷町特産品の黒豆を使用した「黒豆醤油」と共に貯蔵されている。トンネル内は自由に見学することができ、保管場所を見ることが出来る。日・祝日はボランティアガイドによる亀の瀬地すべり歴史資料室や地すべり対策施設、トンネルの案内

も可能だ。見学を訪れる人は中高年が多いことから、同協議会は子どもや家族連れにも親しんでもらおうと「亀の甲羅」をはじめ、「龍田古道・亀の瀬」ご当地ブランドの紹介・販売を通じてPRに力を入れている。今では、昨年と比較して10倍を超える来場者があるという。

■日本遺産を生かした「かわまちづくり」が始動

三郷町は、「かわまちづくり・川の駅整備プロジェクト」として川の駅を建設し、観光エリアとしての整備を進めている。日本遺産の観光や大和川を活用したカヌーなどの川下りのアクティビティもできる予定だ。三郷町担当課では、「『龍田古道・亀の瀬』の歴史文化を多くの方に広め、大和川がもたらす良好な景観・自然環境を活かした観光の促進や地域の活性化を目指したい。新施設が日本遺産の観光拠点やアドベンチャーツーリズムの拠点となるとともに地域住民から愛される、憩いの場となることを願う」と話す。(八木陽子)



大和川の川下りアクティビティのイメージ(上)、「亀の甲羅」のラベル(左下)、「亀の甲羅」と亀の瀬トンネル(右下)

【お問い合わせ先】

・日本遺産「龍田古道・亀の瀬」推進協議会
HP: <https://kamenose.jp>
三郷町 環境整備部 ものづくり振興課
TEL: (0745) 43-7343
FAX: (0745) 73-6334